

三河武士のやかた家康館
古文書に見る岡崎人の事件記録
平成31年2月16日(土)～4月21日(日)

■特別展示室								
No.	項目別	出典(資料名)	年	(西暦)	月日	記事内容	原資料展示	所蔵
1	概説(1)	岡崎藩領図	江戸時代			岡崎藩内六手永の村々を色分けして示した絵図(堤通手永は黄色)	○	岡崎市美術博物館
2	概説(2)	長嶋家御用日記	慶応2～4年	1866～1868		年ごとにまとめられた堤通手永大庄屋の長嶋家の御用留(ごようどめ)日記	○	岡崎市美術博物館
3	暴行(1)	旧投町区有文書	(宝暦7年)	1757	6月25日	投町五郎兵衛の親の徳左衛門が万五郎に怪我を負わされた件の審理願い	○	若宮八幡宮
4	暴行(2)	旧投町区有文書	文政4年	1821	8月	筒針村人足17人のうち3、4人を殴った件で、投町茂七と組頭の容赦願い	○	若宮八幡宮
5	盗難(1)	長嶋家御用日記	文久2年	1862	9月日	牧御堂村庄屋村上武右衛門の盗難届について 合計46品	○	岡崎市美術博物館
6	盗難(2)	長嶋家御用日記	文久3年	1863	6月14日	越後国坊主を泊めたところ財布を夜中に持ち逃げされた高落村林左衛門の盗難届について	○	岡崎市美術博物館
7	盗難(3)	長嶋家御用日記	(安政6年)	1859	3月	米19俵を盗み、代金を使い込んだ福岡新田村庄七とその家族への裁決について	○	岡崎市美術博物館
8	盗難(4)	長嶋家御用日記	(嘉永4年)	1851	4～5月	盗賊への対処に関する触書	○	岡崎市美術博物館
9	盗難関連	旧投町区有文書	享保10年	1725	9月17日	盗人を故意に放免した一件について、投町又七郎と庄屋の口上書	○	若宮八幡宮
10	錠破り(1)	長嶋家御用日記	(弘化2年)	1845	5月	宮地村市之進の召使い伝右衛門が行った駕籠訴に関する奉行所の沙汰について	○	岡崎市美術博物館
11	錠破り(2)	長嶋家御用日記	(安政5年)	1858	2月28日	下土井村瀬三郎、下明大寺村栄八がかかるたばくち中に役人に召捕られた件の処分について		岡崎市美術博物館
12	錠破り(3)	長嶋家御用日記	(嘉永6年)	1853	4月19日	ばくち御制禁の儀を厳重に守るようにとの触書	○	岡崎市美術博物館
13	錠破り(4)	長嶋家御用日記	嘉永2年	1849	8月16日	上三ツ木村、安藤村の百姓たちが獅子舞を無許可でしたことへの処分について	○	岡崎市美術博物館
14	錠破り(5)	旧投町区有文書	明和元年	1764	7月8日	大樹寺参詣の客を乗せた駕籠屋が裏道を通行したことを咎められ差し出した詫び状の控え	○	若宮八幡宮
15	錠関連	旧投町区有文書	嘉永6年	1853	6月	素麺屋彦右衛門が提出した外からの素麺の持ち込み禁止と素麺中売株御免の願書控え	○	若宮八幡宮

■1階展示室								
No.	項目別	出典(資料名)	年	(西暦)	月日	記事内容	原資料展示	所蔵
16	疫病(1)	長嶋家御用日記	(安政5年)	1858	9月5日	流行したコレラに対処法の触書控え		岡崎市美術館
17	疫病(2)	長嶋家御用日記	(安政5年)	1858	9月	流行したコレラに対し城内安全の祈禱をする旨の触書		岡崎市美術館
18	疫病(3)	長嶋家御用日記	(文久元年)	1861	5月	天然痘の治療法の心得がある城下町の医者を紹介する触書	○	岡崎市美術館
19	触書関連	長嶋家御用日記	(文久元年)	1861	3月	米のとぎ汁から灯油を精製するためにとぎ汁を捨てないように命じる触書		岡崎市美術館
20	人相書	長嶋家御用日記	(文久4年)	1864	11月	池鯉鮒宿から岡崎宿までの御用状を持ち逃げした岡崎宿人足善吉の人相書について	○	岡崎市美術館
21	心中(1)	長嶋家御用日記	弘化3年	1846	5月28日	上三ツ木村源三郎とみよの心中事件に関する顛末の覚書		岡崎市美術館
22	心中(2)	長嶋家御用日記	天保13年	1842	6月8日	矢作川で見つかった嘉兵衛とすゑの変死体の処置に関する報告について	○	岡崎市美術館
23	心中(3)	長嶋家御用日記	安政5年	1858	2月6日	西浅井村金蔵と梅の心中事件の届出について	○	岡崎市美術館
24	不審死	旧投町区有文書	正徳6年	1716	3月17日	娘の不審死に金子2両を受取り、懐柔された岡村勘左衛門の証書控え	○	若宮八幡宮
25	勘当(1)	長嶋家御用日記	弘化4年～文久3年	1847～1863		上福桶村松(空)右衛門の勘当願(3回)及び帰村願(2回) について	○	岡崎市美術館
26	勘当(2)	長嶋家御用日記	(万延元年)	1860	6月3日	下合欽木村佐右衛門以下8名の勘当願とその内容について	○	岡崎市美術館
27	奇談(1)	近世奇談録	江戸時代後期(成立)			某年3月3日、三河額田郡大樹寺村農人某の女房の不義について	○	西尾市岩瀬文庫
28	奇談(2)	近世奇談録	江戸時代後期(成立)			天保10年(1839)7月、岡崎藩士狹間弥一右衛門が城内で「マミ」という獣を殺したことについて		西尾市岩瀬文庫
29	奇談(3)	三河奇怪	江戸時代後期(成立)			安永3年(1774)正月6～8日、岡崎宿裏町六供で蝦蟇(がまがえる)数百匹が集まり闘争が起きたことについて	○	西尾市岩瀬文庫
30	奇談(4)	三河奇怪	江戸時代後期(成立)			宇津和泉守忠政が吠える獵犬の首をはねたら、蟒(オロチ)に食いついた逸話について		西尾市岩瀬文庫
31	奇談(5)	三河奇怪	江戸時代後期(成立)			慶長15年(1610)日近郷で大石が降ったことについて		西尾市岩瀬文庫
32	奇談(6)	煙霞綺談	安永2年(成立)	1773		三河山中村で火葬の小児を喰う狂女が現れた話について	○	西尾市岩瀬文庫

※都合により、予告なしに展示品が変更される場合があります。

〈参考写真パネル画像〉

- ・岡崎城絵図(岡崎市美術館所蔵)
- ・溪斎英泉『木曾街道六十九次 木曾道中岩村田』(国立国会図書館所蔵)
- ・『頭書増補訓蒙図彙大成 21巻』(国立国会図書館所蔵)
- ・豊原国周『東叡山農夫願書』(早稲田大学演劇博物館所蔵)
- ・『徳川幕府刑事図譜 賭博の図』(明治大学博物館所蔵)
- ・三代豊国『御祭礼獅子舞之図』(国立国会図書館所蔵)
- ・橋本直義『流行虎列刺病豫防の心得』(内藤記念くすり博物館所蔵)
- ・三代豊国『沢村源之助』(早稲田大学演劇博物館所蔵)
- ・三代豊国『帯屋長右衛門 市川八百蔵』(早稲田大学演劇博物館所蔵)

〈主要参考文献〉

- ・竹内誠監修『ビジュアル・ワイド 江戸時代館』小学館 平成14年
- ・竹内誠監修『一目でわかる江戸時代』小学館 平成16年
- ・竹内誠『徳川幕府事典』東京堂出版 平成15年
- ・笹間良彦『大江戸復元図鑑(庶民編)』遊子館 平成15年
- ・河合敦監修『歴史群像シリーズ 図解・江戸の暮らし事典』学習研究社 平成19年
- ・秋山忠彌監修『図説江戸8 大江戸捕物帳』学習研究社 平成15年
- ・花咲一男監修『大江戸ものしり図鑑』主婦と生活社 平成12年
- ・西田知己『実は科学的!? 江戸時代の生活百景』東京堂出版 平成30年
- ・『別冊宝島1533号 大江戸タプー事件史』宝島社 平成20年
- ・岡崎市史料叢書編集委員会『長嶋家御用日記 史料叢書』岡崎市 平成22年
- ・新編岡崎市史編集委員会『新編岡崎市史 近世 3』新編岡崎市史編さん委員会 平成4年
- ・新編岡崎市史編集委員会『新編岡崎市史 史料 近世上 7』新編岡崎市史編さん委員会 昭和58年
- ・新編岡崎市史編集委員会『新編岡崎市史 総集編 20』新編岡崎市史編さん委員会 平成5年
- ・岡崎市役所『岡崎市史 第三巻』名著出版 昭和47年
- ・岡崎市役所『岡崎市史 第五巻』名著出版 昭和47年
- ・岡崎市役所『岡崎市史 第八巻』名著出版 昭和47年

三河武士のやかた家康館